

岐阜県中国研 研究部総会

「書くこと」部会 令和元年度の研究方向

書くこと部会部長：岐阜市立青山中学校 一川 宗弘

1. はじめに（昨年度の成果と課題）

昨年度は、全国大会の課題を踏まえ、魅力や必然のある題材設定、仲間との対話や議論を通して論理の展開や表現の仕方について吟味する言語活動の設定、個に応じた指導・援助等を充実させ実践を行った。下記は、部会研究主題とその成果と課題である。

書くこと部会研究主題

相手，目的や意図，場面や状況に応じて，考えが伝わる文章を書く能力の育成
～論理の展開や表現の効果を考え，工夫して書くことができるための指導の在り方～

- 生徒が魅力や書く必然性を感じる題材を、学校の特性に合わせて考え、提示の仕方を工夫したことで、どの生徒も意欲的に取り組むことができた。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、少人数で吟味、検討する場を設けたことや、モデル文やプリントの提示等、手立てを工夫したことで、論理の展開や表現の効果を考えて書く力を付けることにつながった。
- 「主体的・対話的で深い学び」が、「書くこと」の学習において、どのように実現できるのかをさらに考えていきたい。そのために、対話や議論を通じて、自分のものの見方や考え方を広げ生かしたり、論理の展開や表現の仕方、効果について吟味して自分の考えを書いたりするための言語活動の在り方をさらに研究していく必要がある。

生徒が魅力や書く必然を感じるのは、やはり自分に近い題材の時である。今後も、相手や目的等を学校の特性や生徒の実態に応じたものになるように留意していきたい。さらに、今年度は、昨年度の課題を受け、対話や議論を通して自分のものの見方や考え方を広げる時間を、単元全体や単位時間に効率的に位置付けるための在り方を中心に研究を進めていきたい。

2. 今年度の研究方向

【めざす生徒の姿】

- ・「もっと知りたい」「書きたい」と、魅力や必然性を感じ、見通しをもって主体的に学習に向かう姿
- ・論理の展開や表現の仕方、効果について考えたり、吟味したりして、自分の考えを書く姿
- ・対話や議論を通じて、自分のものの見方や考え方を広げ、自分の表現に生かしていく姿
- ・「こうすると～な文章が書ける」「確かによくなった」「もっと～な書き方を知りたい」と実感をもつことができる姿

書くこと部会研究主題

相手，目的や意図，場面や状況に応じて，考えが伝わる文章を書く能力の育成
～論理の展開や表現の効果を考え，工夫して書くことができるための指導の在り方～

【研究仮説】

- ・「この題材・この時間でしか付けることができない力」とは何かを明らかにした上で、指導事項を明確にし、魅力や必然性のある題材を設定すれば、主体的に学習に向かう姿を育成することができる。
- ・単元や単位時間において仲間との対話や議論を通して、論理の展開、表現の仕方や効果について考えたり吟味したりする言語活動を意図的に仕組み、個に応じた指導・援助を行えば、自分の見方や考え方を広げ、伝えたい内容を工夫して書く能力を育成することができる。

研究内容

(1) 指導計画の工夫

- ①「言語活動一覧表」及び「言語活動具体化一覧表」をもとにした言語能力の明確化
- ②生徒が魅力や書く必然性を感じる題材の工夫

(2) 指導・援助の工夫

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導過程の工夫
- ②「苦手を克服する手立て」「得意を伸ばす手立て」等、個に応じた指導・援助の充実

(2) 評価の工夫

- ①単元の終末における自己の高まりを実感できる評価の在り方

3. 主題設定の理由（生徒の実態より）平成30年度全国学力・学習状況調査結果参照

平成30年度全国学力・学習状況調査報告書には、調査結果について「書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成することはできている」としながらも「伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くこと」に弱さがみられると述べられている。また、「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと」や「相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くこと」にも課題として挙げられている。他領域との関連を図りながら指導していくことが大切だと痛感した。

さらに、同報告書では、「目的や意図に応じて相手に分かりやすく書く指導の工夫」について、「分かりやすい説明や具体例を加えたり表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んで描写を工夫したりするように指導する必要がある。」と述べられている。与えられた言語活動をこなす授業ではなく、生徒が、相手、目的や意図、場面や状況に応じて多様な形式の中から選択し、主体的に伝える姿を追究していくことが求められる。

4. 今年度の「書くこと部会」活動計画

日時	活動内容	決定事項
5月27日	第1回研究部総会 ①研究部長および研究部員の紹介 ②研究構想の検討 ③「明日に生きる言語活動一覧表」をもとにした授業実践・加筆修正の分担 ④黒板写真ホームページアップの役割分担	別紙：役割分担
7月末までに	①黒板写真メール送付	別紙：役割分担表に沿って 送付先：青山中学校 一川宗弘
8月6日	第1回「明日の国語を考える会」	一之宮公民館
8月19日	夏季研修会	
12月	★「ぎふこくご」執筆（部長・部員1名）	★「ぎふこくご」実践報告 中学校 先生
12月下旬	第2回「明日の国語を考える会」	
12月末までに	・黒板写真メール送付 ※別紙：役割分担表に沿って	送付先：青山中学校 一川宗弘
2月中旬	第2回研究部総会 ①各研究部研究構想の検討と完成 ②来年度「明日に生きる言語活動一覧表」をもとにした授業実践・加筆修正の分担 ③来年度黒板写真ホームページアップの役割分担 ④来年度に向けて	